
easyHousing

環境設定マニュアル Windows7 編 第 1.3 版

2012年7月24日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2011/08/29	・ 新規作成
1.1 版	2012/01/20	・ 改版履歴を追加 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 「インターネットオプション」 レベルのカスタマイズ 「インターネット」の設定を「信頼済みサイト」で行うように修正 それに伴い、Cookie とポップアップブロックの設定手順を削除
1.2 版	2012/05/15	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ④ セキュリティの設定に「アプリケーションと安全でないファイルの起動」にチェックする手順を追加 ・ 5.1 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ⑧ 既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合の手順を追加 ・ 5.2 JRE のインストール JRE1.7 のインストール手順に変更
1.3 版	2012/07/24	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ポップアップブロック解除手順を追加 ・ JRE と電子証明書ライブラリのインストール順を変更 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 読み込み画面の説明を追加

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書のインストール	4
4	インターネットエクスプローラ	8
4.1	Internet Explorer の設定	9
5	必要ソフトウェアのセットアップ	17
5.1	JRE のインストール	17
5.1.1	JRE1.7 のインストール手順	20
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリのインストール	22
	(補足) Administrator 権限の追加・削除手順	34
5.3	Adobe Reader のインストール	38

1 はじめに

このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE、Adobe Reader）のセットアップ

※このマニュアルは、Windows7 を対象としています。

2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービス利用時、Windows ユーザの権限に制限はありません。

しかし事前準備では、下記の権限を所有している必要があります。

○…Administrator 権限必要

×…Administrator 権限不要

電子証明書の インストール	インターネット エクスプローラ の設定	電子署名ライブラリの セットアップ	JRE の セットアップ	Adobe Reader の セットアップ
×	×	○(※1)	○(※2)	○(※2)

※1 サービスを利用するユーザに Administrator 権限が無い場合、インストール時に権限の付与が必要になります。
(インストール終了後は、権限が除去されても問題ありません。)

※2 サービスを利用するユーザに Administrator 権限が無い場合、権限を付与するか、権限を所有する他のユーザからのインストールが必要になります。

3 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

①電子証明書のCD-ROM（*1）をドライブにセットしてください。

「CERT_xxxxxx.p12」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

◆メモ◆

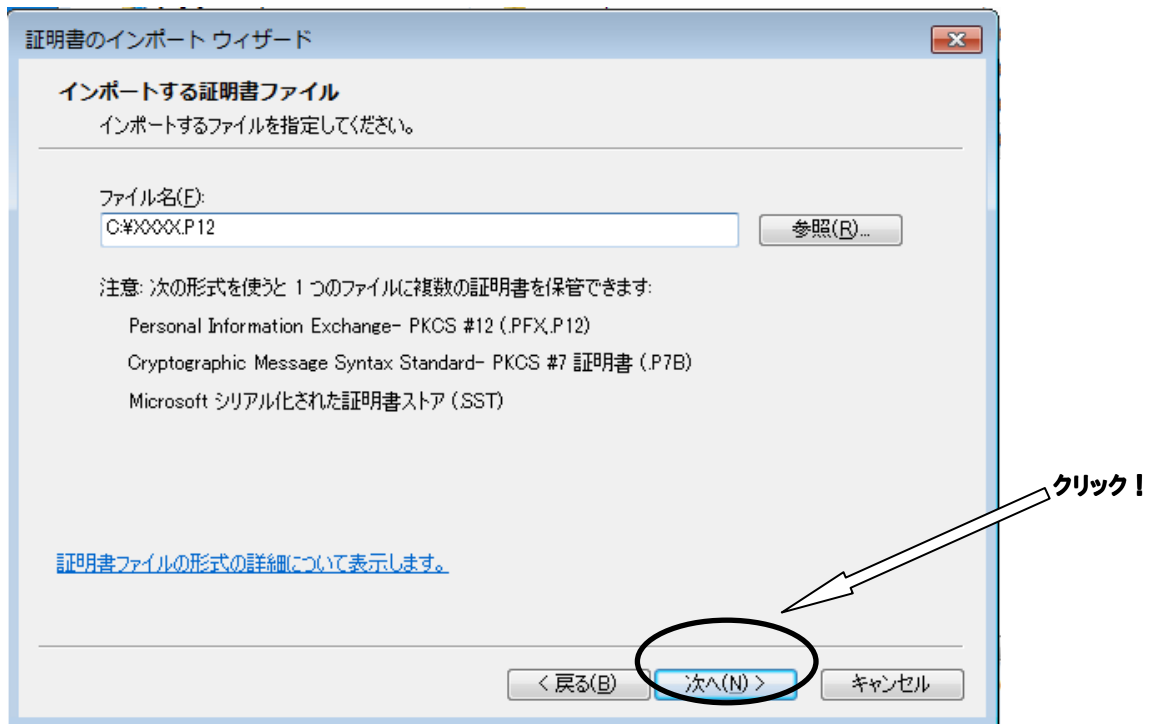
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROMの内容が自動的に読み込まれ、下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラからCD-ROMドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

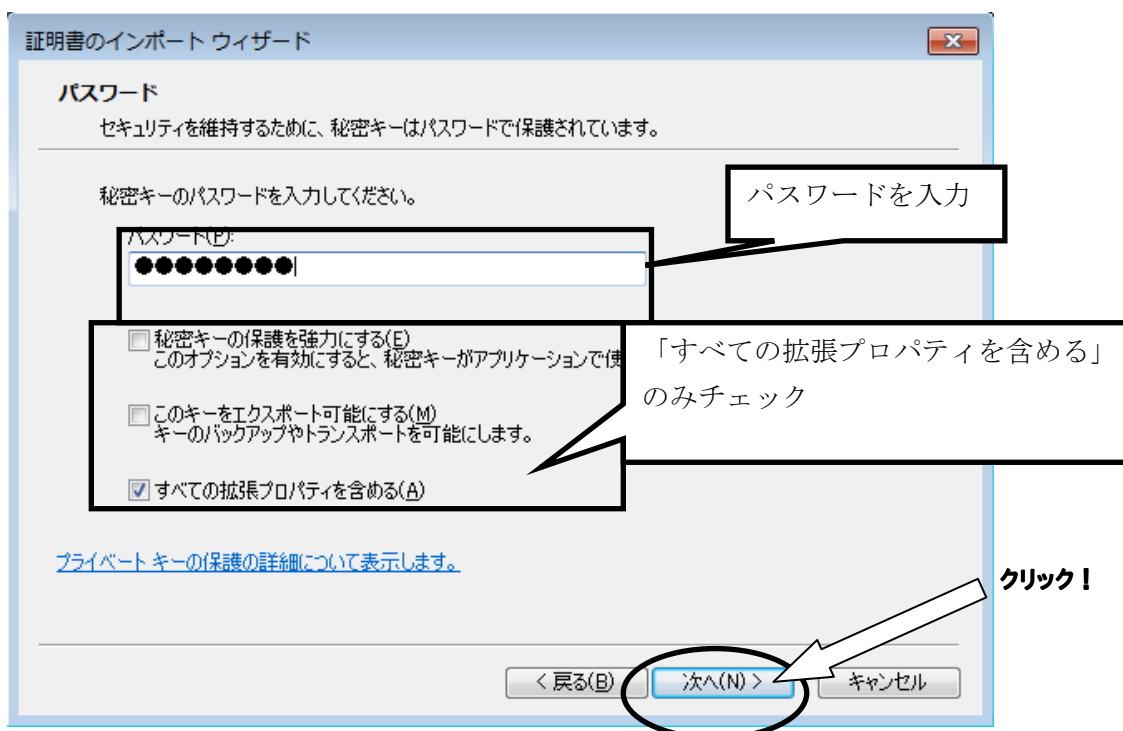
②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、『次へ』ボタンをクリックします。



③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



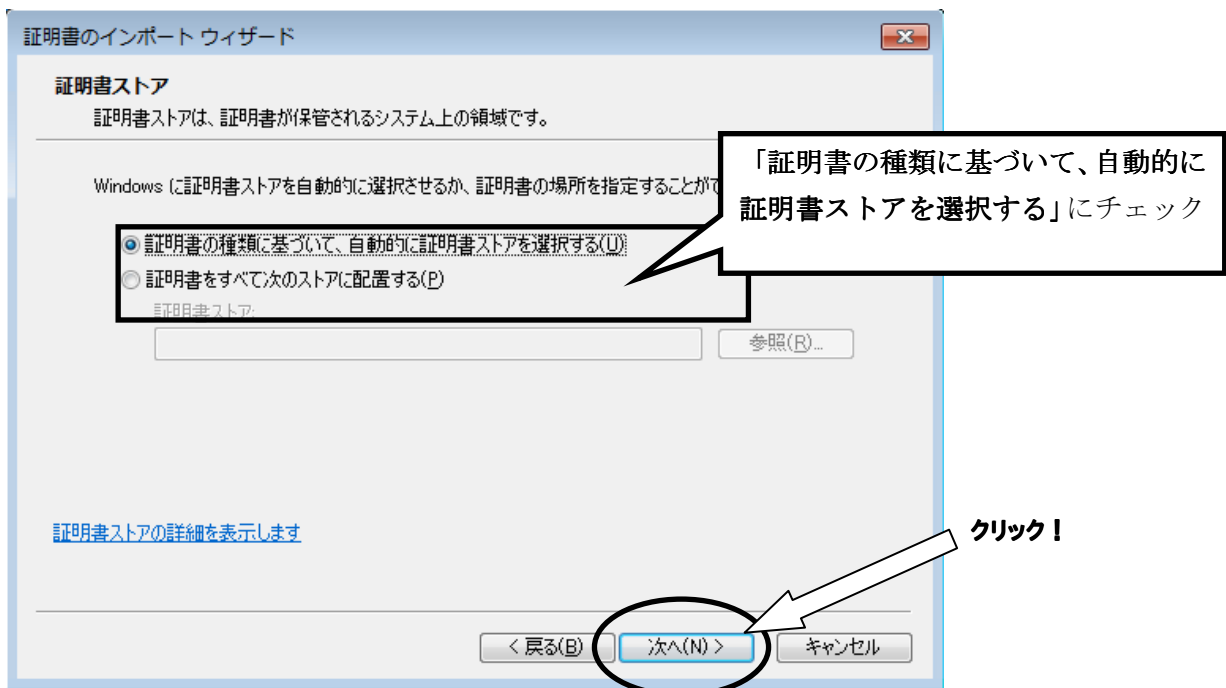
④「パスワード」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

⑤＜証明書ストア＞画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



⑥＜証明書インポート ウィザードの完了＞画面では、『完了』をクリックします。



★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

4 インターネットエクスプローラ

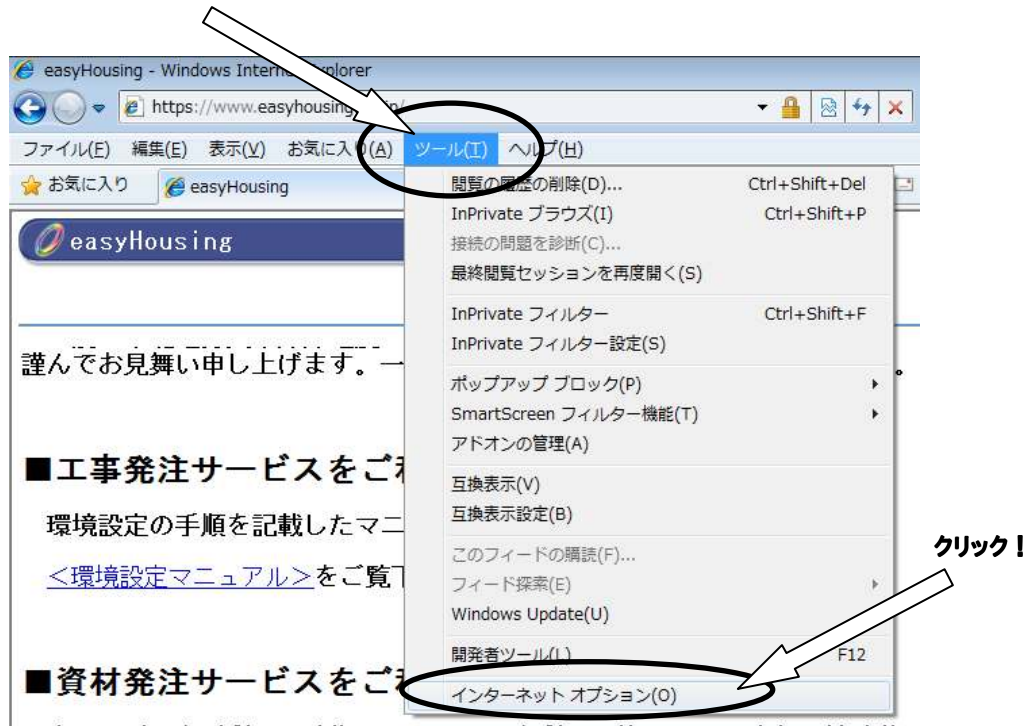
本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

このマニュアルでは、Internet Explorer 8、Internet Explorer 9 について説明しています。

4.1 Internet Explorer の設定

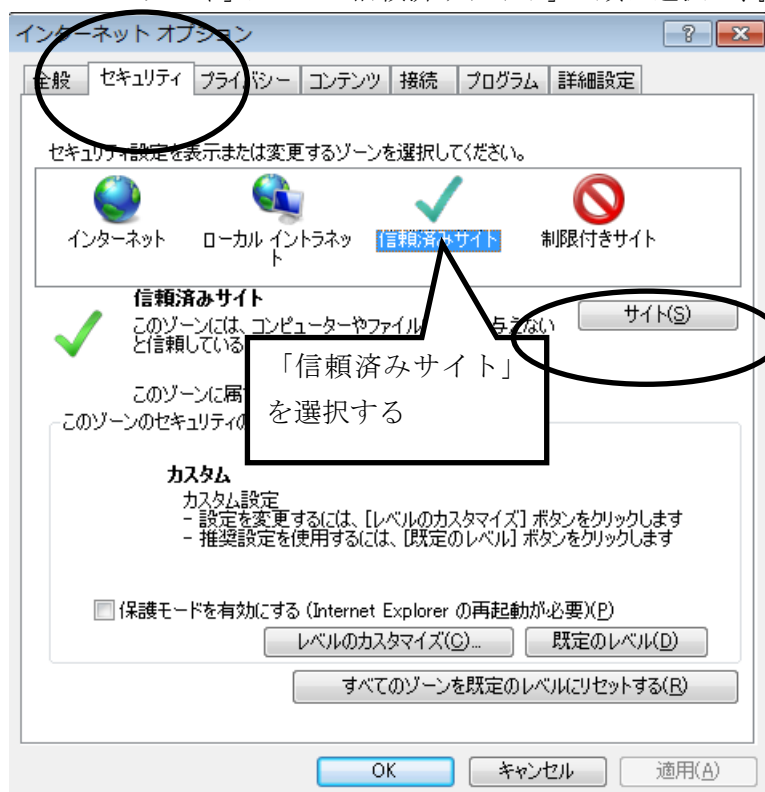
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

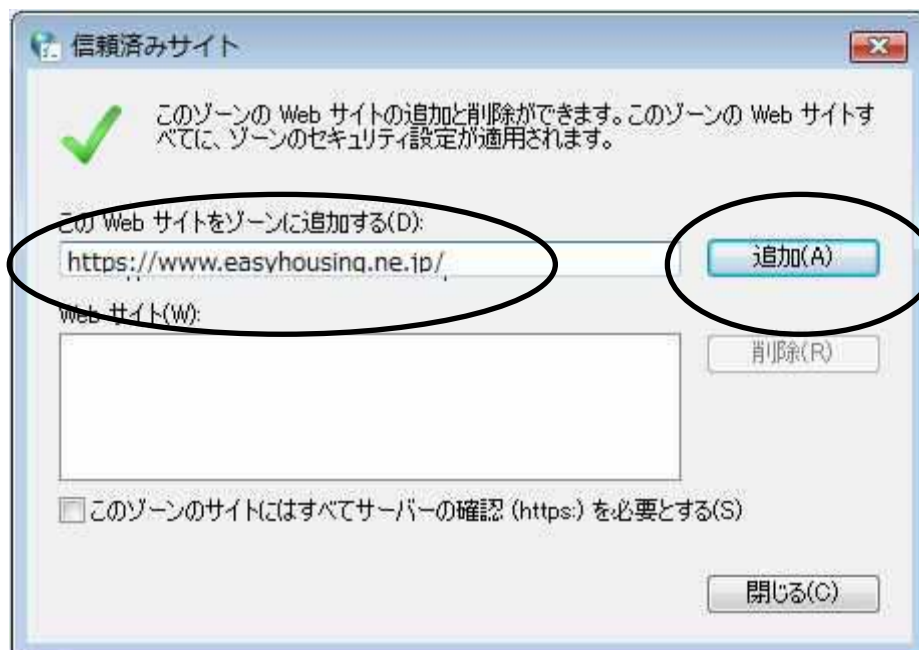


②信頼済みサイトの設定をします。

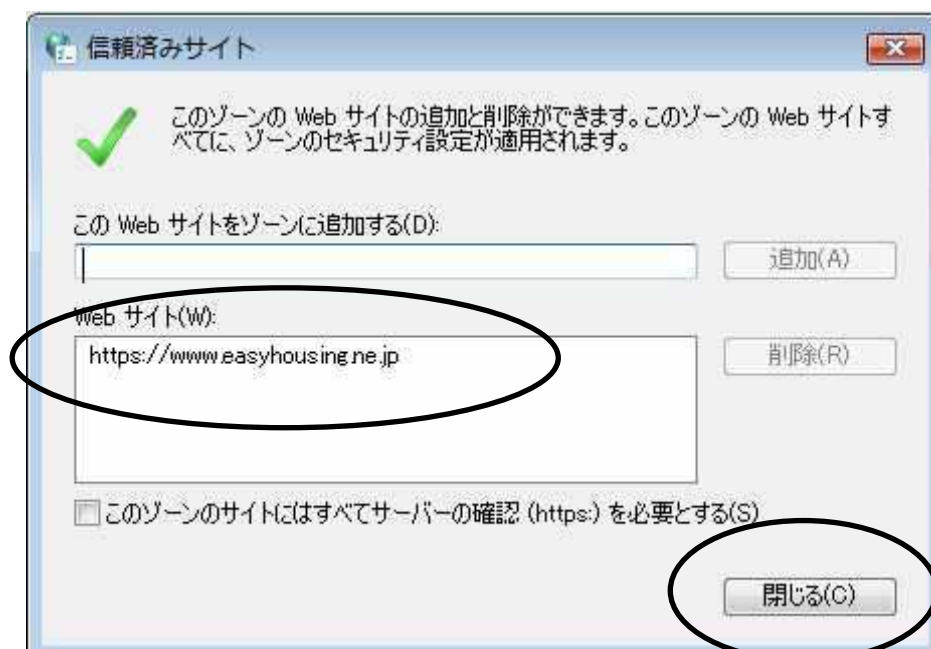
1.「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

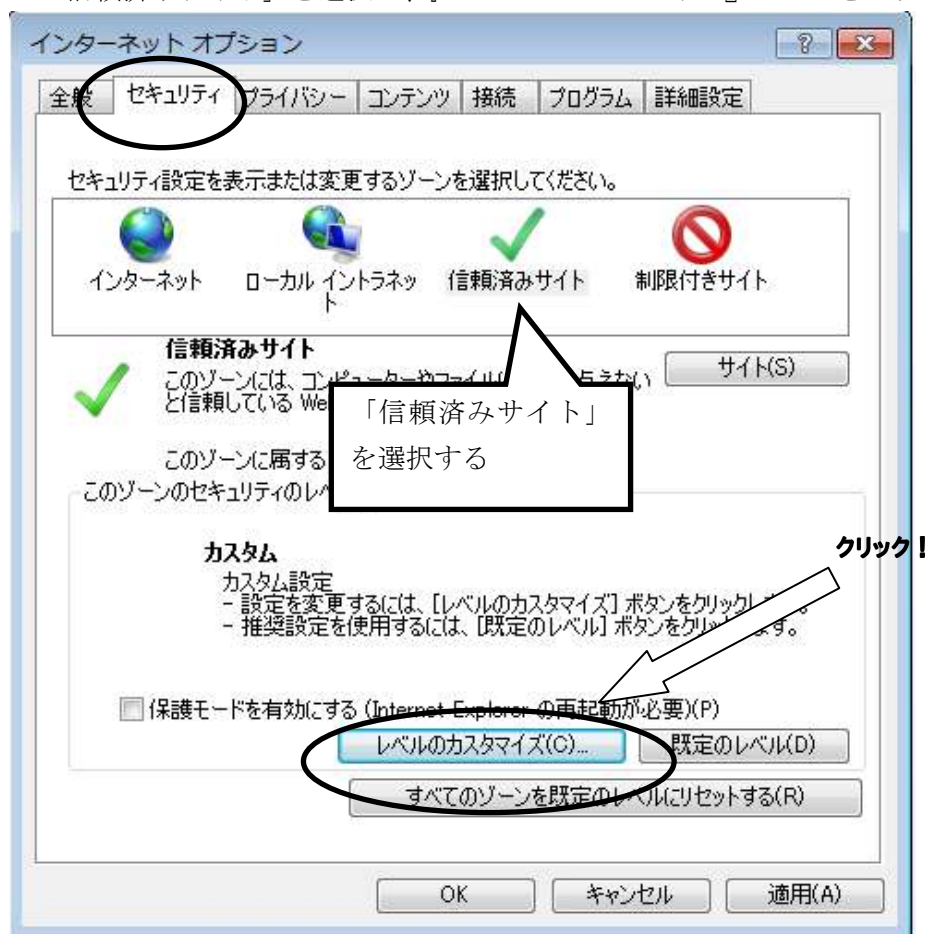


3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

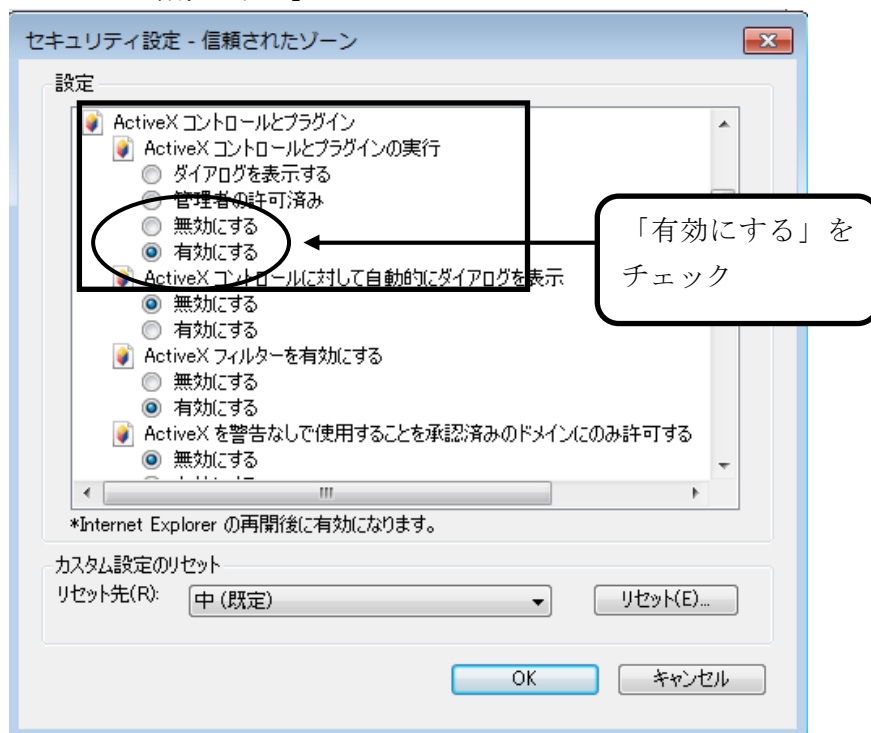
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



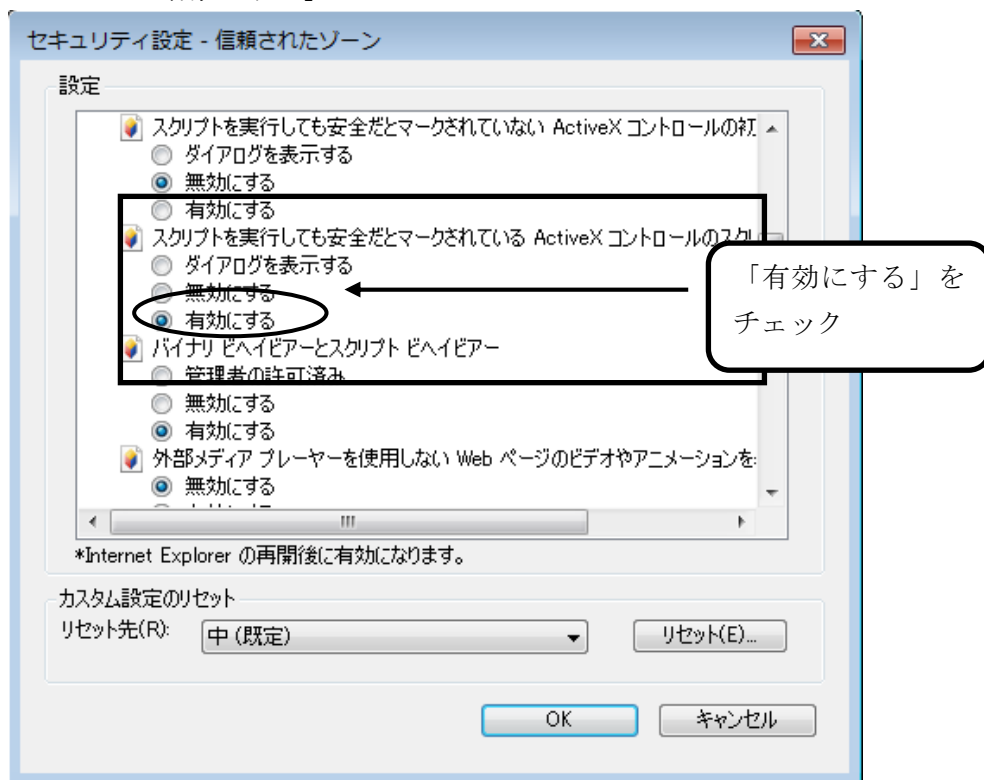
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

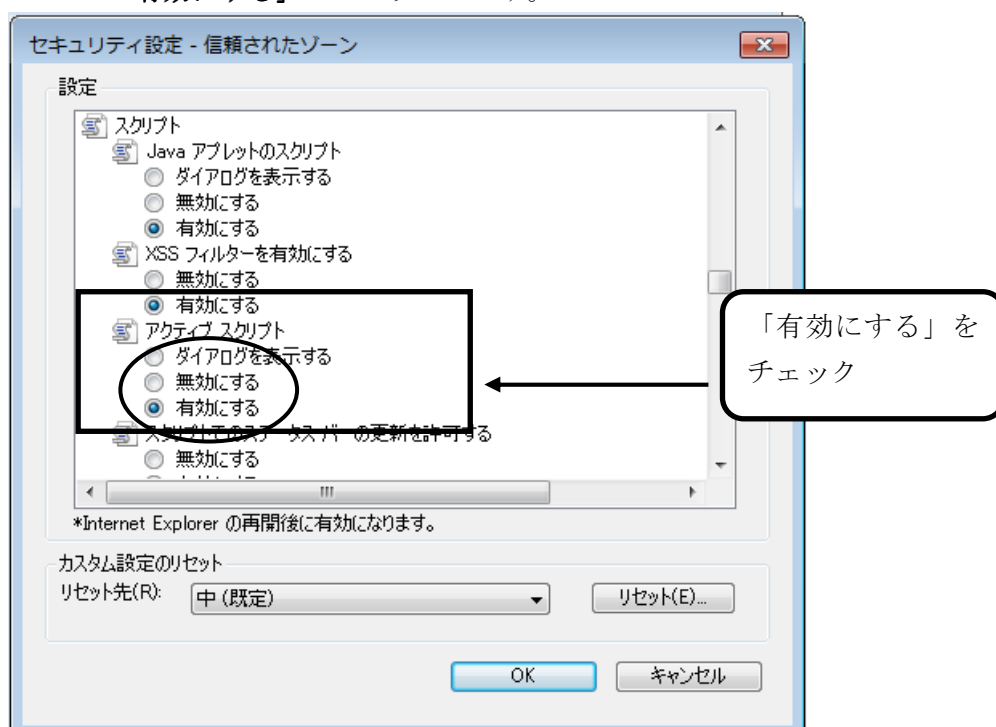
→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。

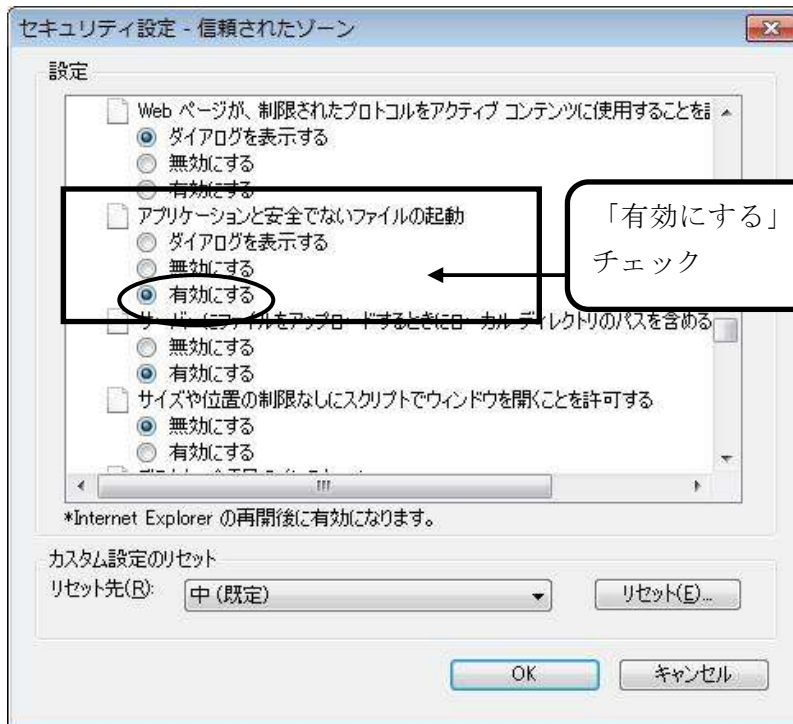


- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



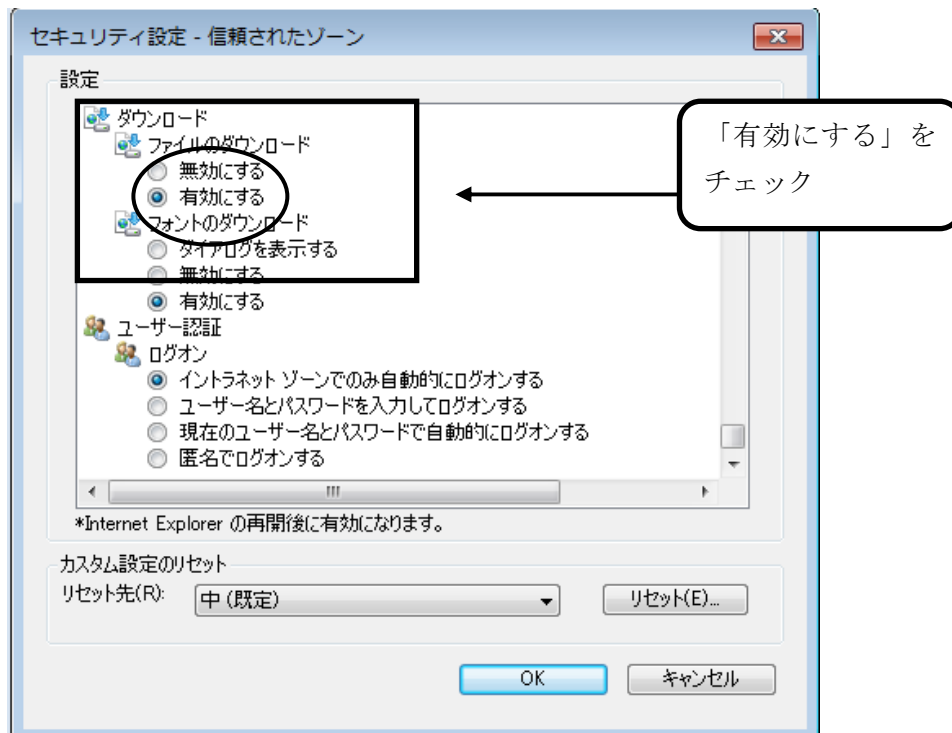
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「有効にする」にチェックします。



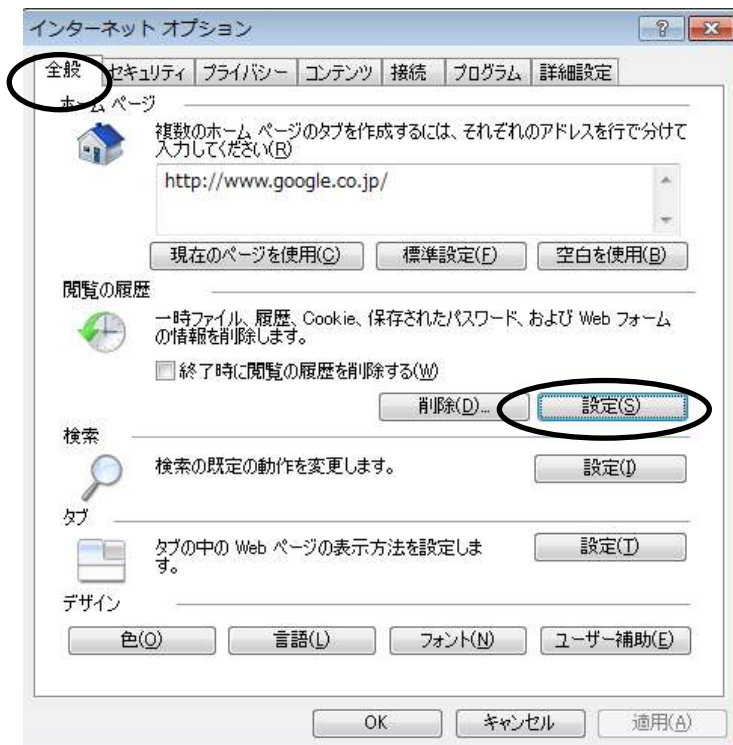
●ファイルのダウンロード

→「有効にする」にチェックします。



⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

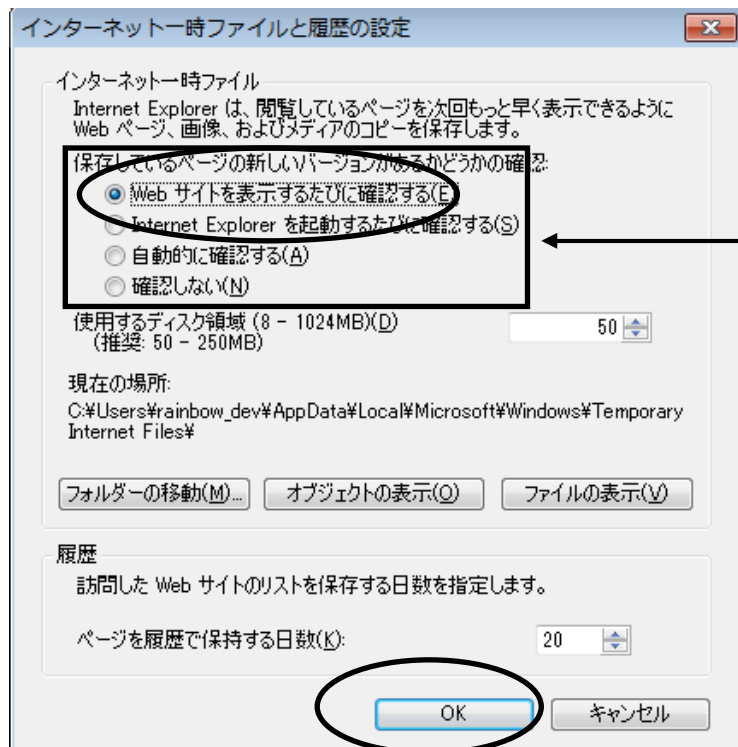
⑥ [全般] タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。



⑦ 「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

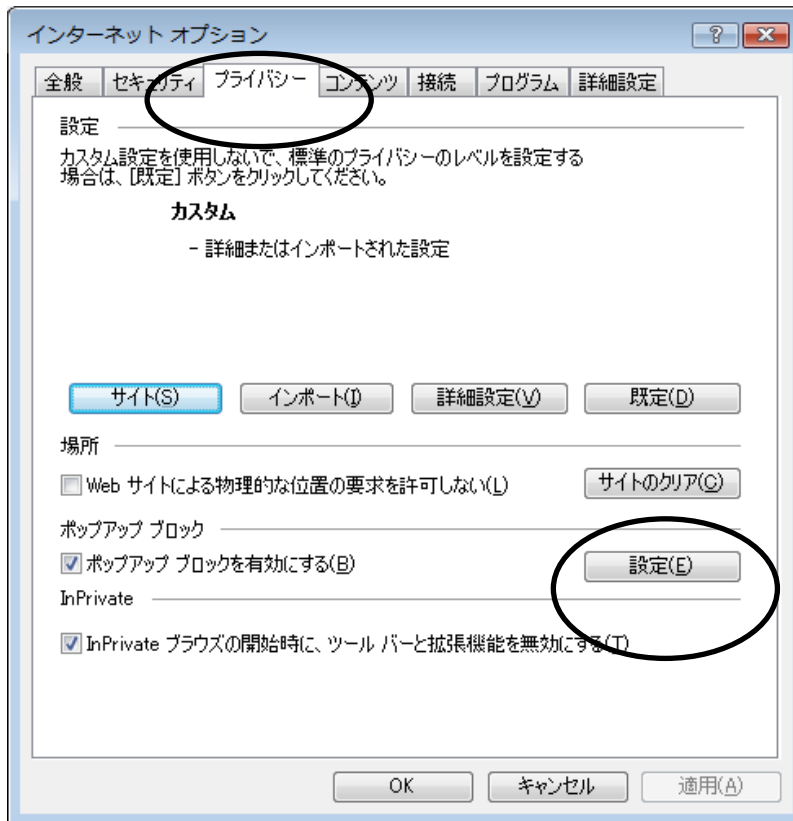
●保存しているページの新しいバージョンの確認

→ 「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

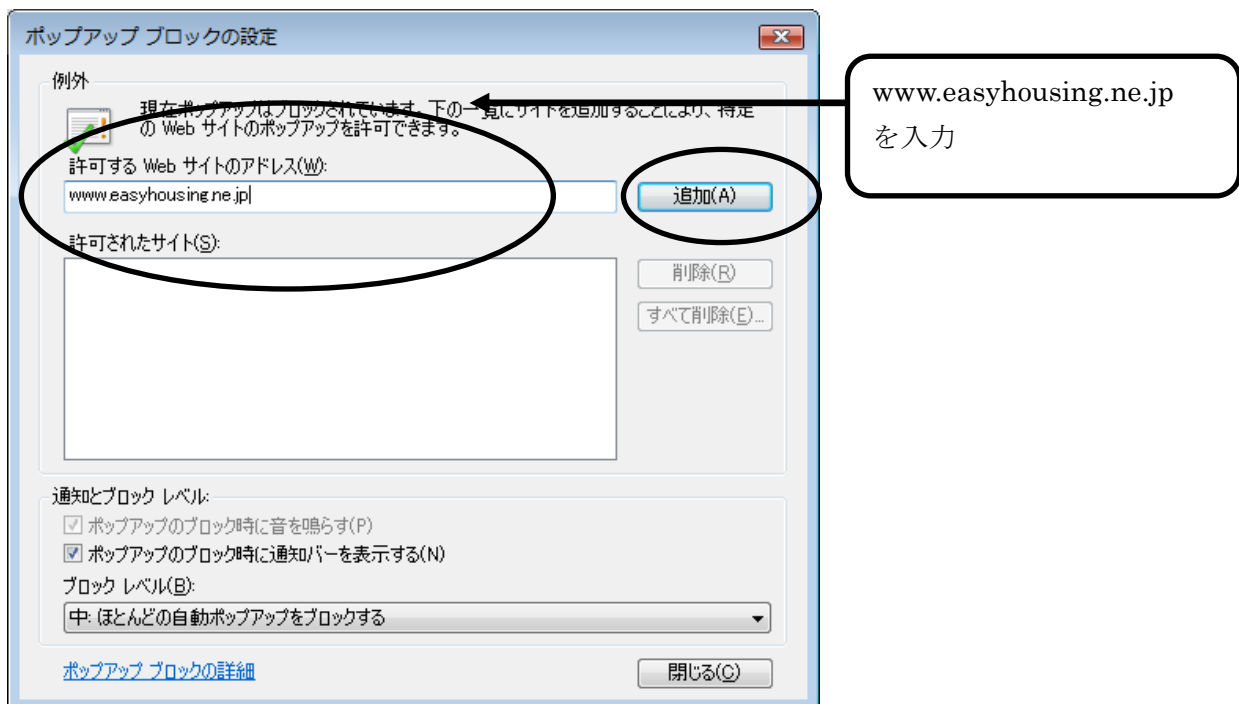


「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

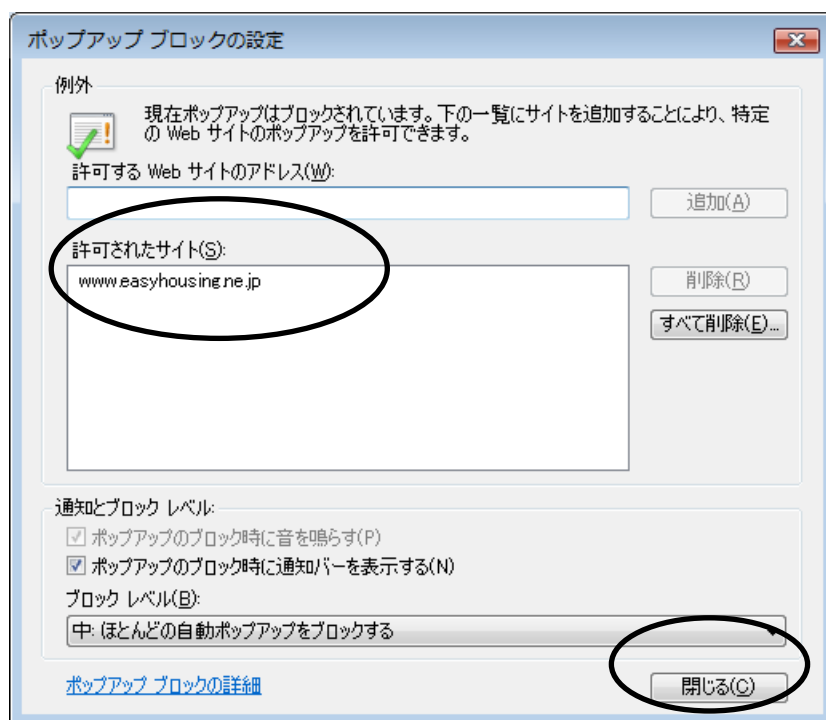
⑧ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑨<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中にリセットボタンや電源スイッチを押さないでください
- (3) 必ず、インストールプログラムを使用してインストールして下さい。

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.7 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

以下の URL にアクセスします。

<http://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

『Windows オフライン』 をクリックします。

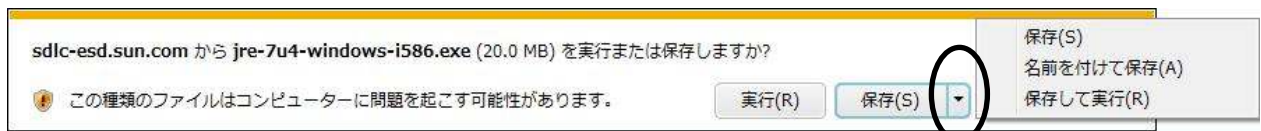


(Internet Explorer 8 の場合)

『保存』を選択し、任意の場所に保存します。

**(Internet Explorer 9 の場合)**

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。

JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.7 のインストール手順

①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。

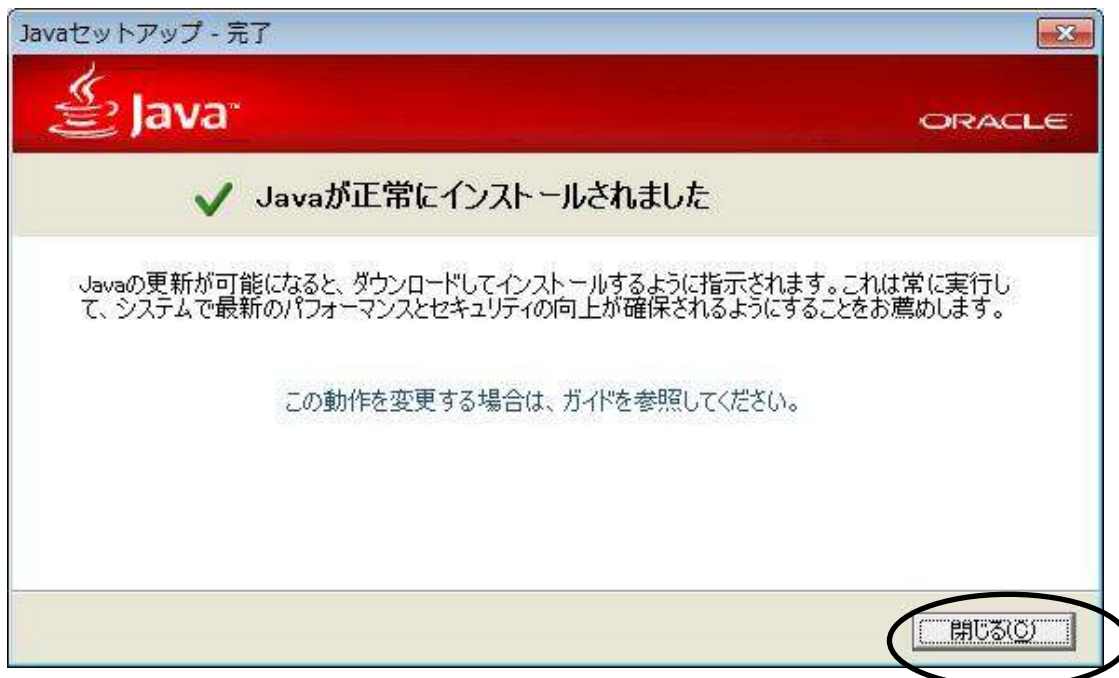


③<セットアップ - 進捗>画面が表示されます。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール

インストール手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのインストール手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。

<easyHousing URL>
<https://www.easyhousing.ne.jp/>



- ②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※ログイン画面と同時に、以下のような画面が開きます。



これは発注/請負処理高速化のための画面となります。

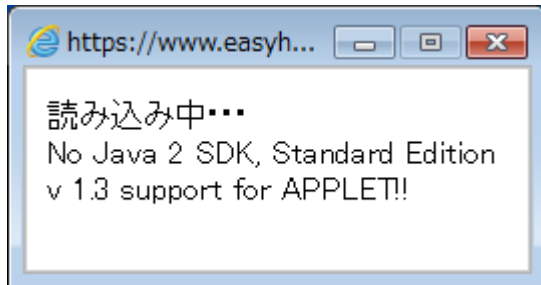
読み込み終了後は自動的に閉じられますので、×ボタンで閉じないようにしてください。

なお、読み込み処理中もログインなどの操作は可能です。

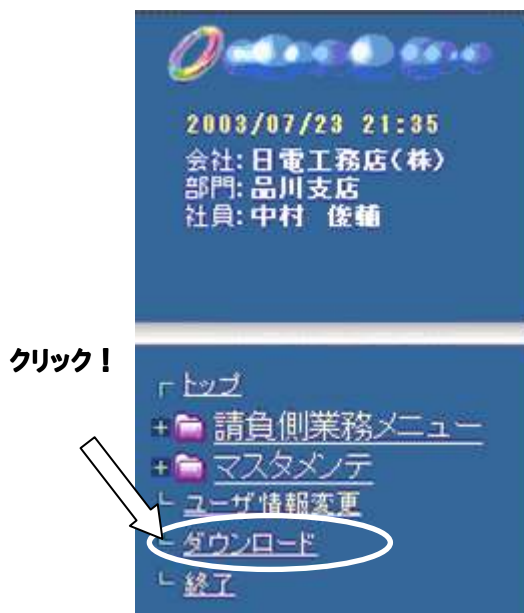
Java がインストールされていない場合

以下のようなメッセージが表示された場合は、×ボタンで画面を閉じ

Java をインストールして下さい。(17 ページ 『5.1 JRE のインストール』を参照して下さい)



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。

ダウンロード

工事発注請負サービス

- 電子署名ライブラリセットアップファイル
- クライアントチェックツール

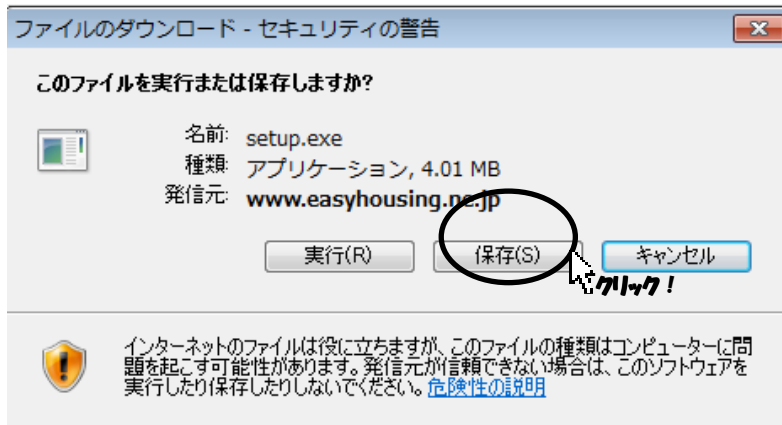
※WindowsXP、Vista、7対応



⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

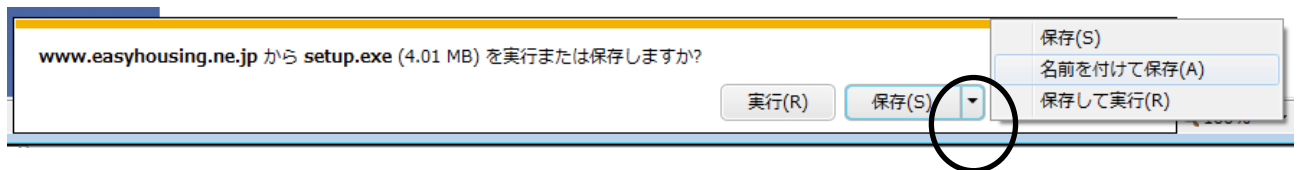
(Internet Explorer 8 の場合)

『保存』ボタンをクリックしてください。

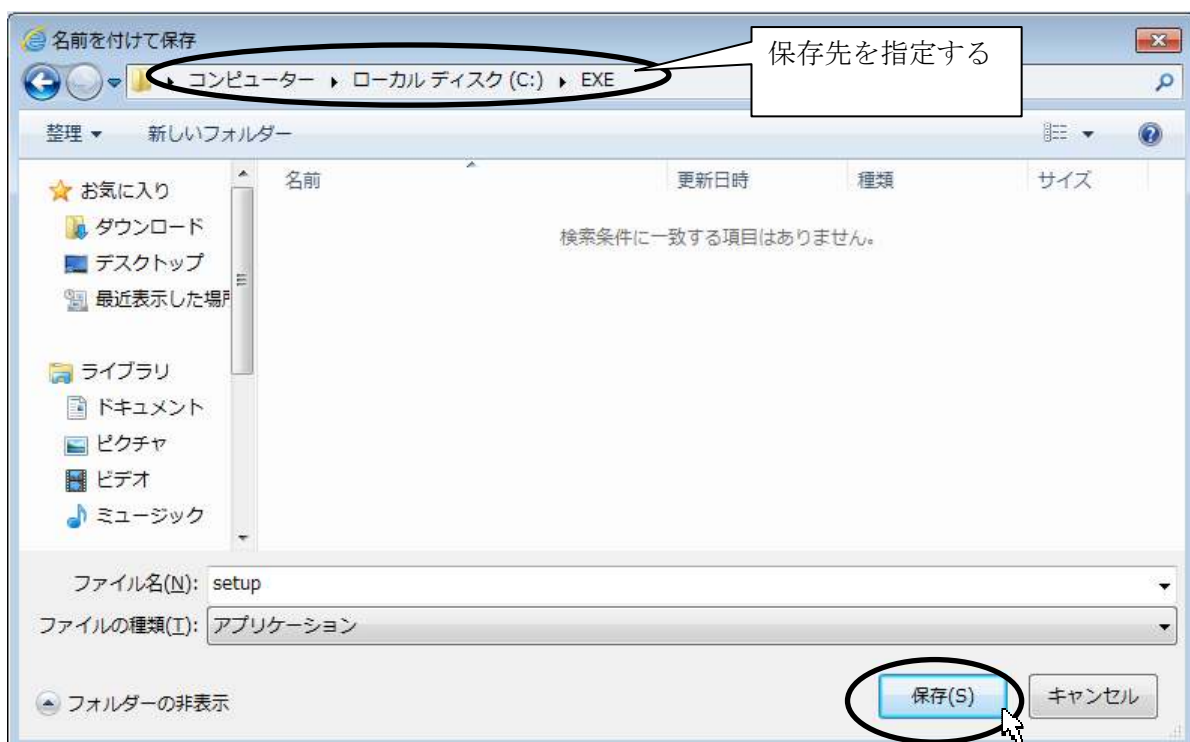


(Internet Explorer 9 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。



⑥<名前をつけて保存>画面が表示されます。任意のフォルダへ保存してください。



- ⑦保存したファイル「setup.exe」をダブルクリックし、
セットアップを開始します。

以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

ここでパスワードを入力し続行しても、管理者ユーザに設定が行われるため、
現在のユーザには設定できません。

「いいえ」を選択し、34 ページ『(補足) Administrator 権限の追加・削除手順』に従って
現在のユーザに Administrator 権限を付加した後、⑦からやり直して下さい。

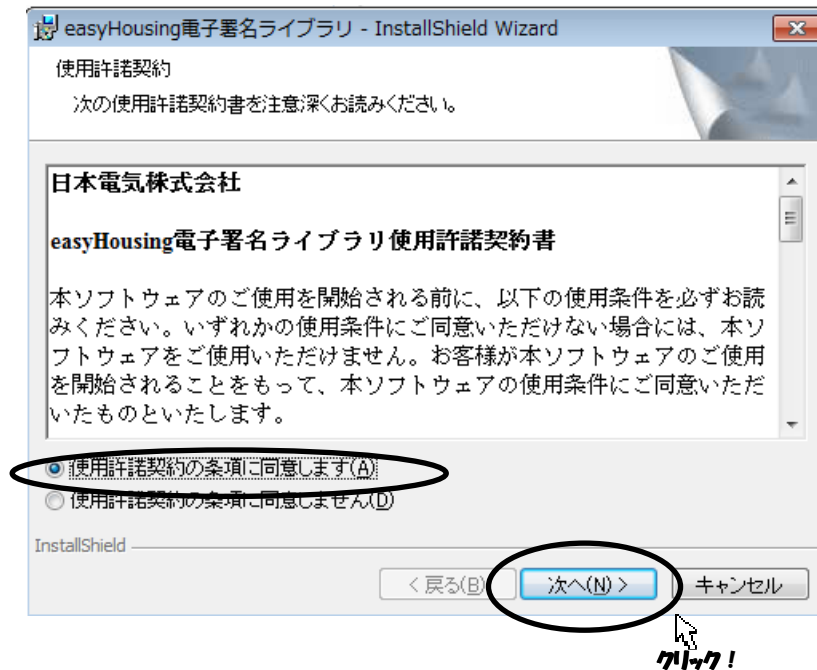


⑧InstallShield Wizard が起動します。

●初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。

内容をご確認のうえ、

「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

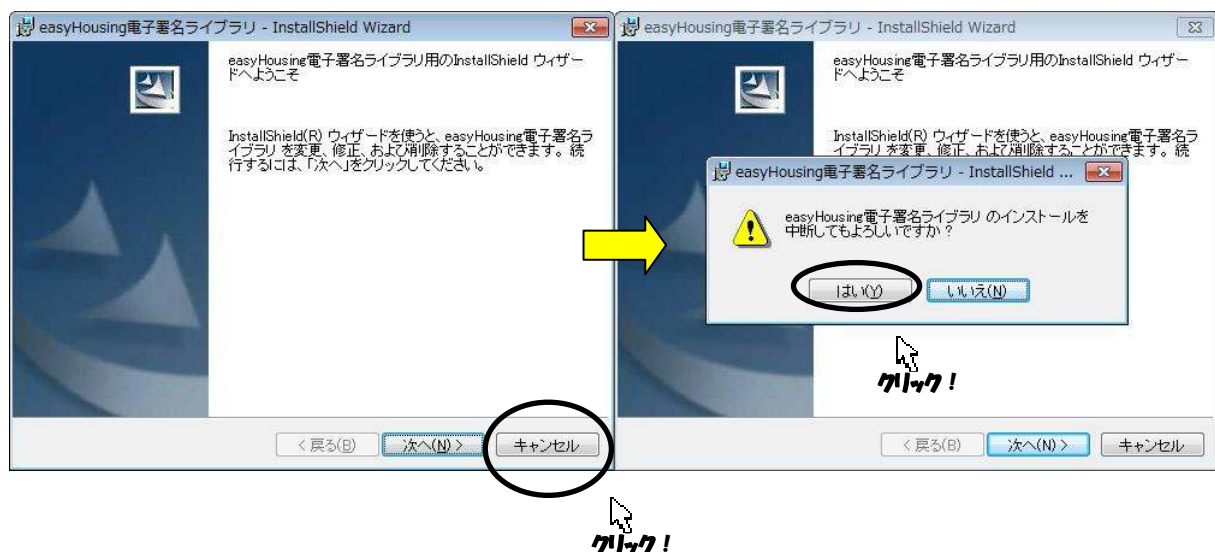


手順⑨へ進んでください。

●既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合、＜InstallShield ウィザードへようこそ＞の画面が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックし、「インストール中断確認」ダイアログが表示されたら『はい』を選択しインストールを中断します。

(電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後、手順⑦からインストールをやり直してください)



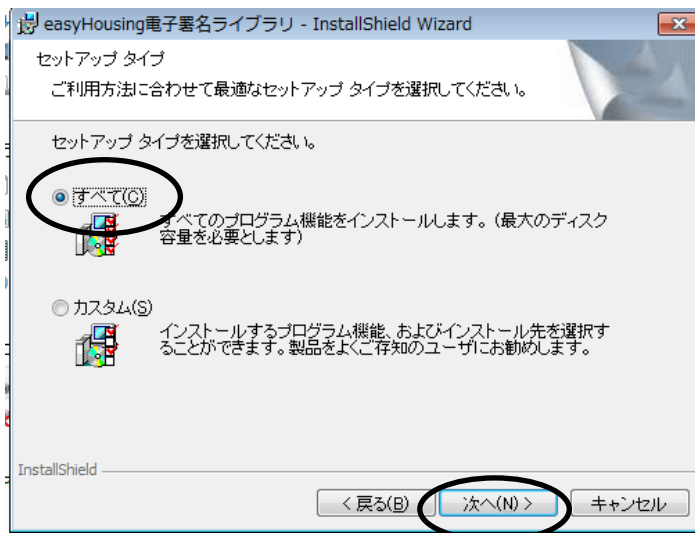
⑨<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」（通常）か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

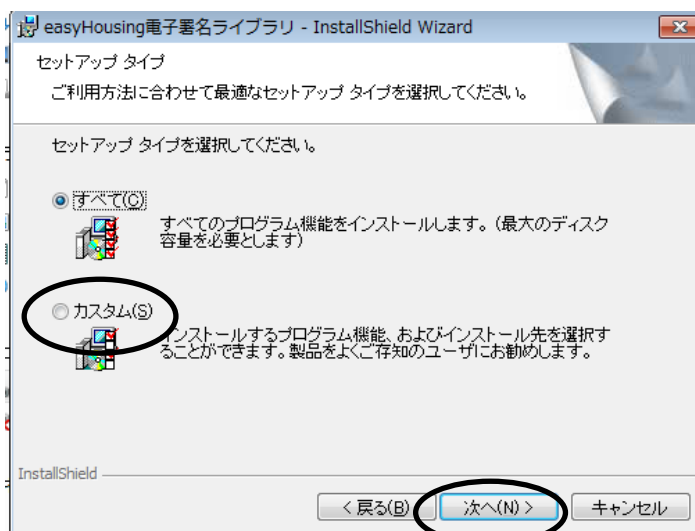
“C:\Program Files\NEC\jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑩⑪⑫をとばして⑬へ進みます。



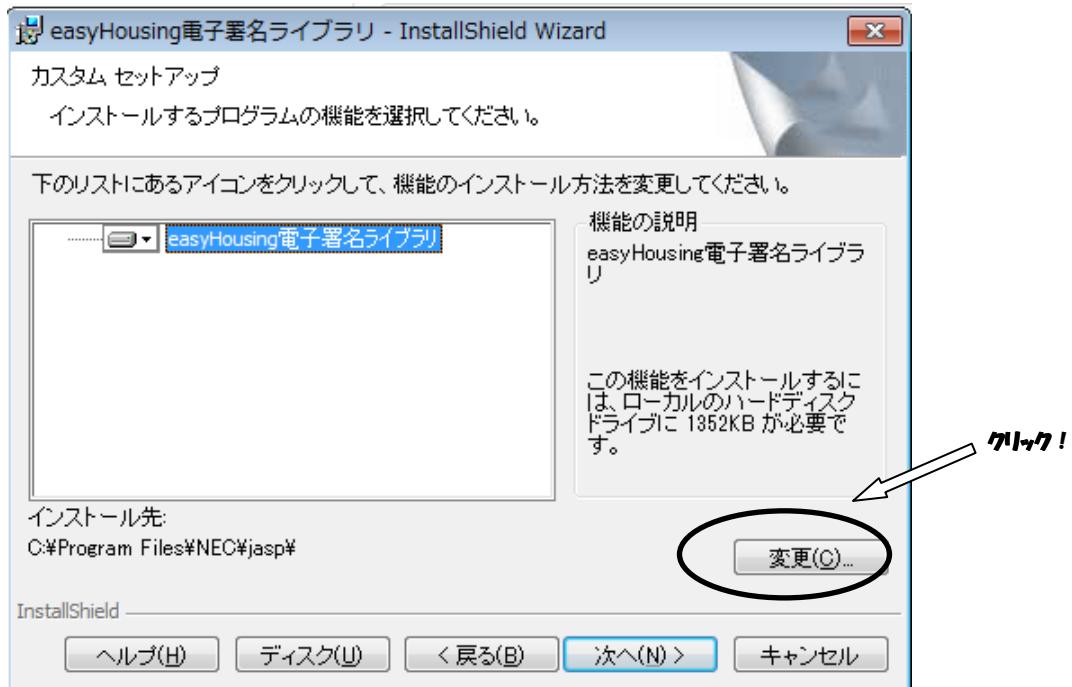
手順⑬へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

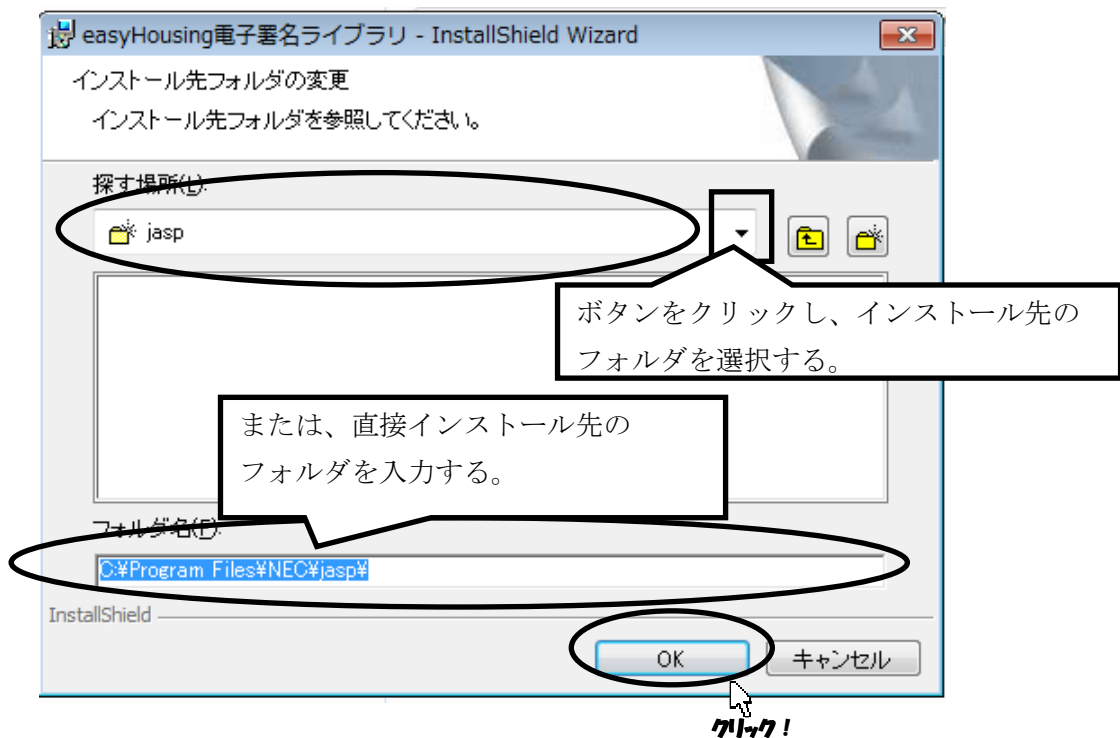


手順⑩へ進んでください。

- ⑩<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順⑨で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

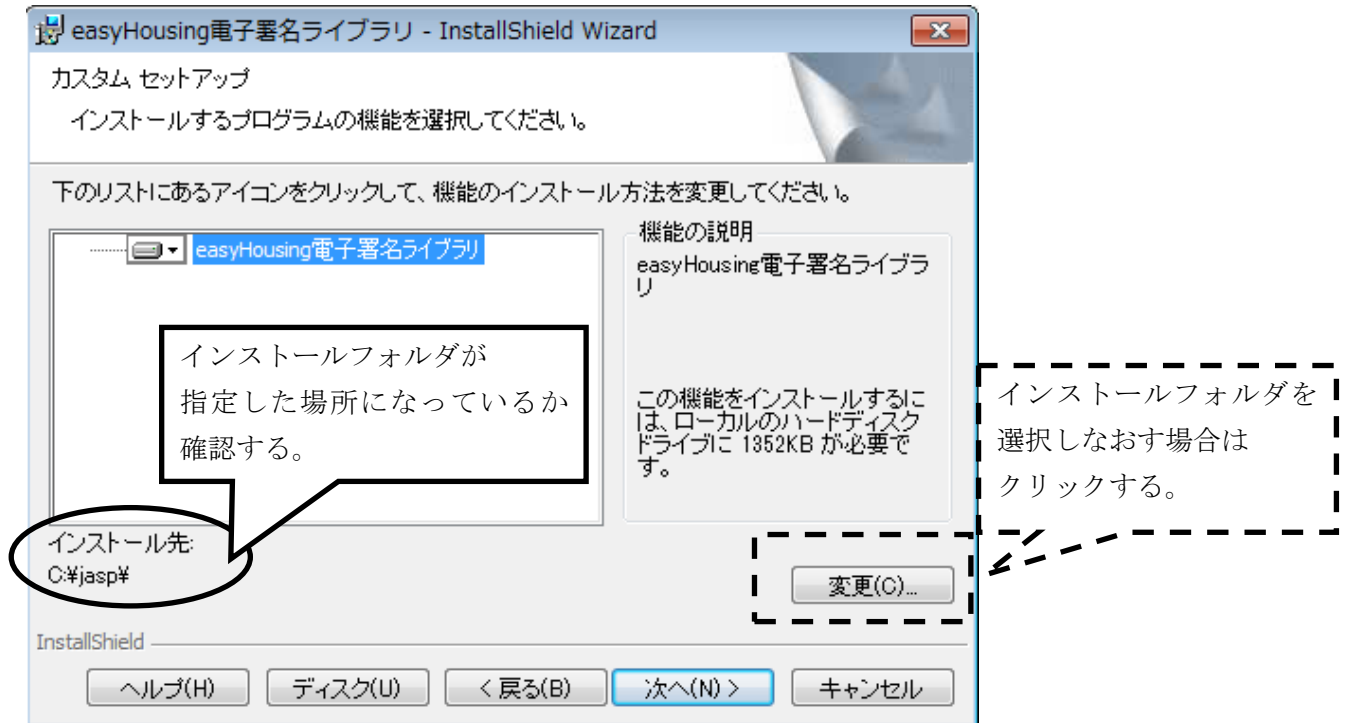


- ⑪<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」 の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



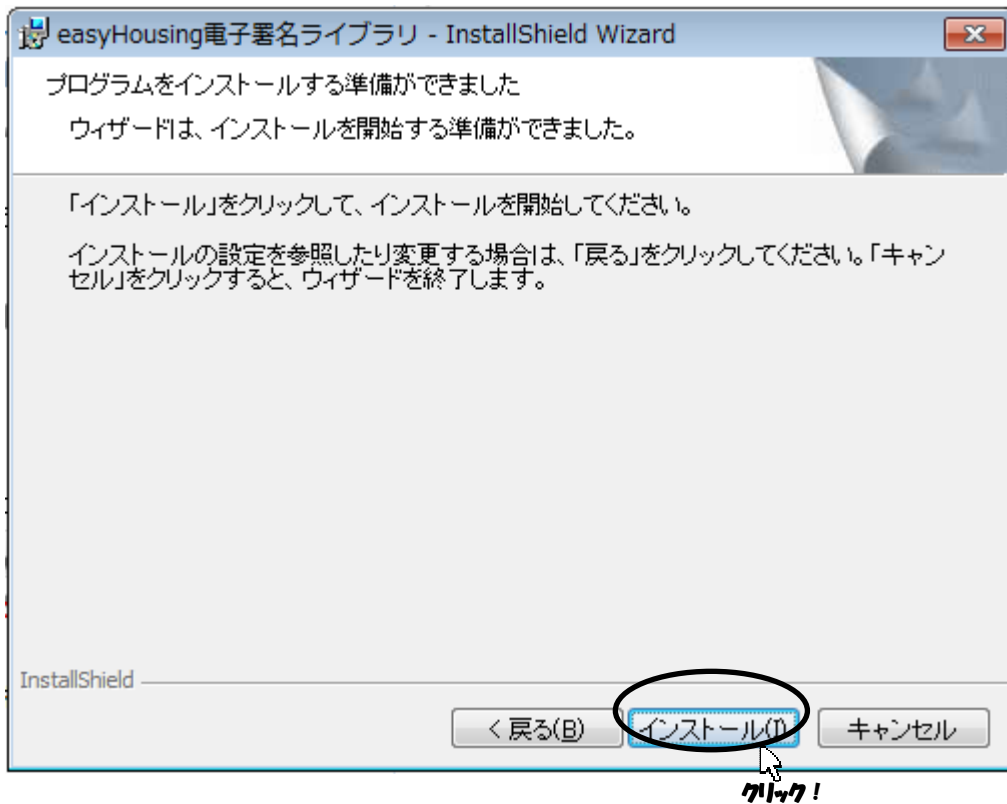
⑫<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。



⑬<プログラムをインストールする準備ができました・・・>画面が表示されます。

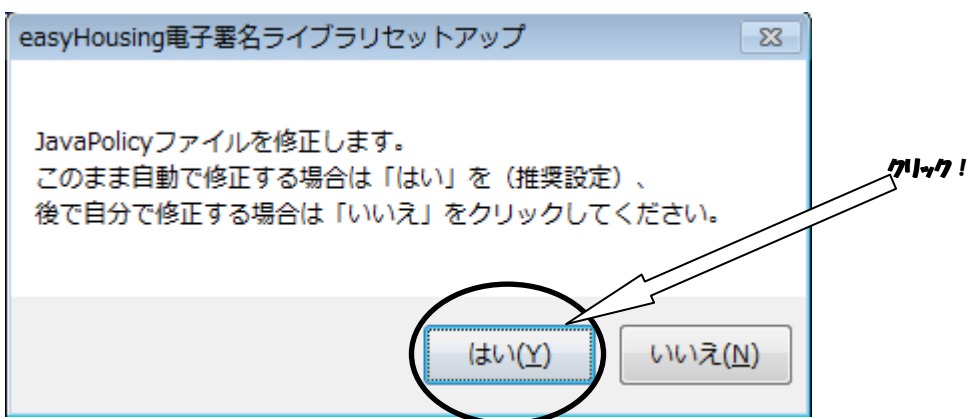
『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。



⑭インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



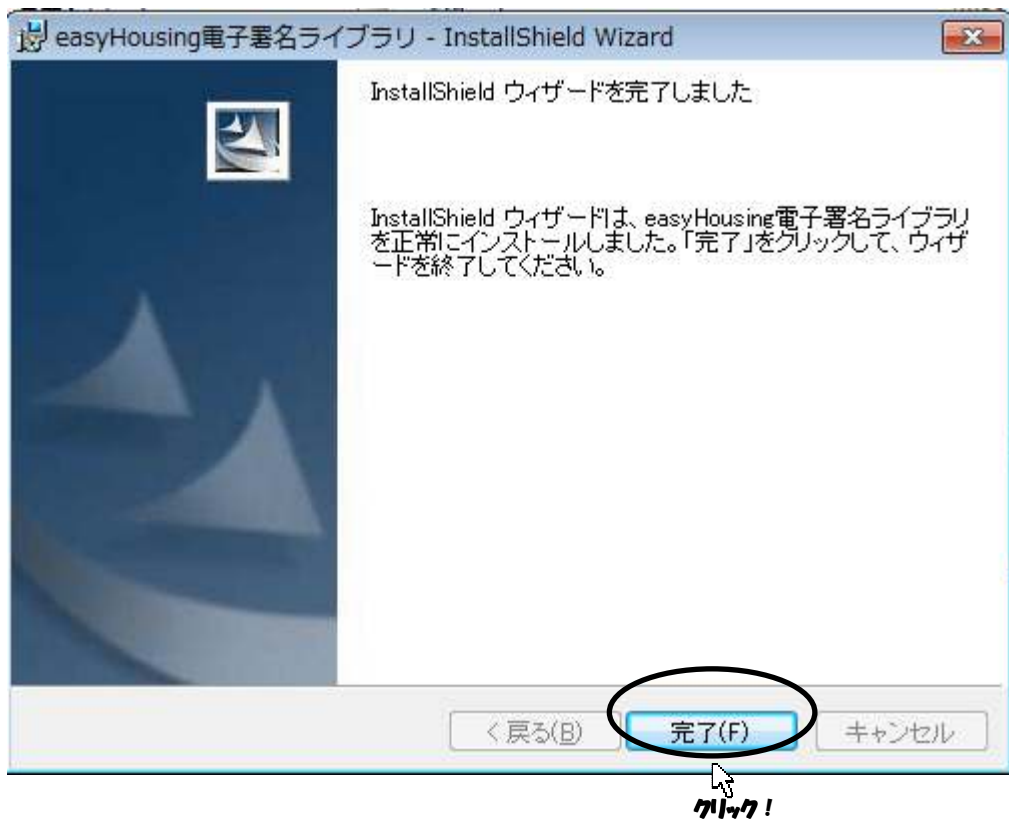
- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:\¥Users¥(ユーザ名))

>記述内容<

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑮<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。

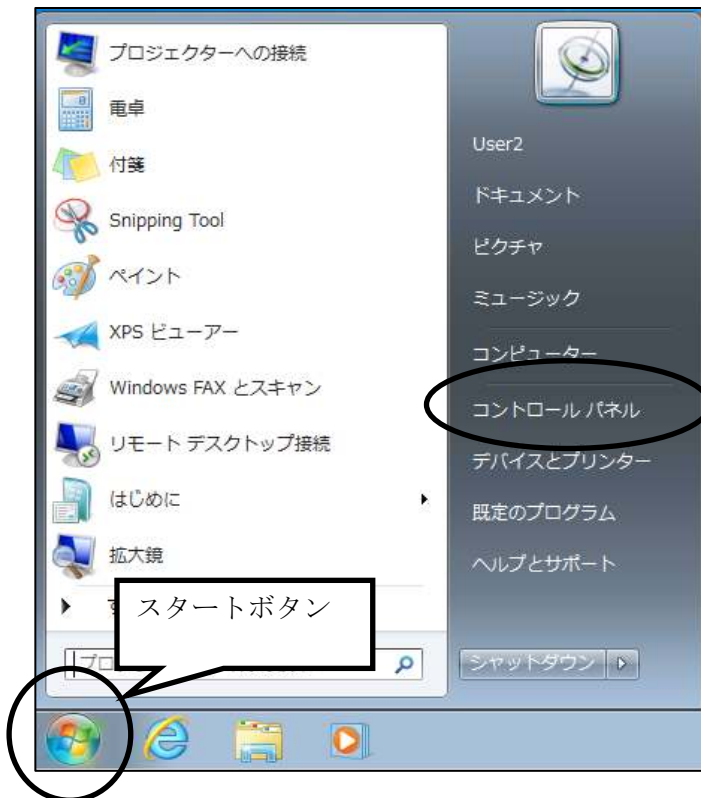


(補足) Administrator 権限の追加・削除手順

※権限の変更には、管理者ユーザのパスワードが必要になります。

管理者ユーザのパスワードが分からない場合は、社内のパソコン管理者様にお問い合わせください。

①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。



②「表示方法」の右にある「▼」ボタンをクリックした後、「カテゴリ」をクリックします。
(既に「カテゴリ」になっている場合は不要です。)



③「ユーザーアカウントの追加または削除」を選択します。



④(パスワードを要求された場合) 管理者ユーザのパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



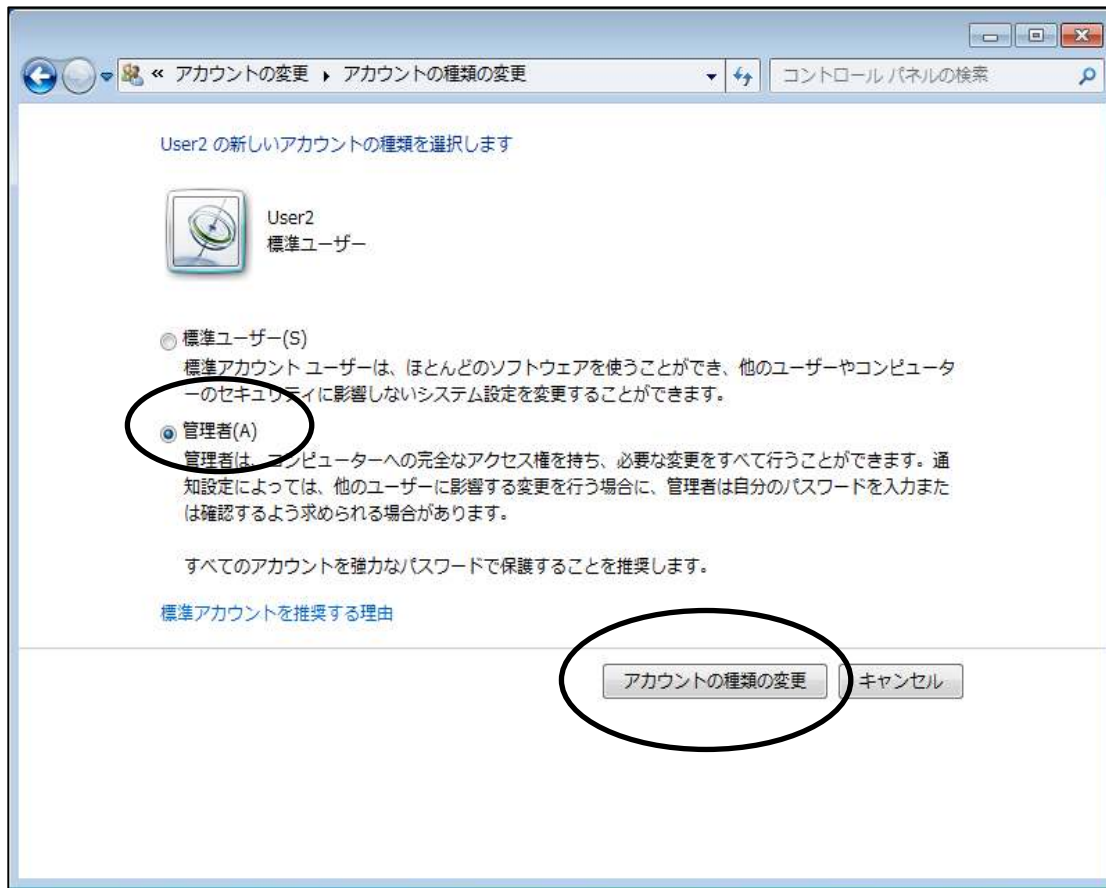
⑤権限を変更したいユーザをクリックします。



⑥「アカウントの種類の変更」をクリックします。



- ⑦Administrator 権限を追加する場合、「管理者」を選択し、
「アカウントの種類を変更」ボタンをクリックします。
(権限を削除する場合は、「標準ユーザー」を選択します)



- ⑧PC 再起動後、設定が有効になります。

5.3 Adobe Reader のインストール

以下の手順では、Adobe Reader9 ※1 をダウンロードする手順について説明します。

※1:本書では、例としてバージョン 9 を使用しますが、
Adobe Reader のバージョンは 4 以上なら動作致します。

※2:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①以下の URL にアクセスします。

http://kb2.adobe.com/jp/cps/895/cpsid_89559.html



②「Adobe Reader 9 インストーラー」のリンクをクリックします。

Windows 版 Adobe Reader 9

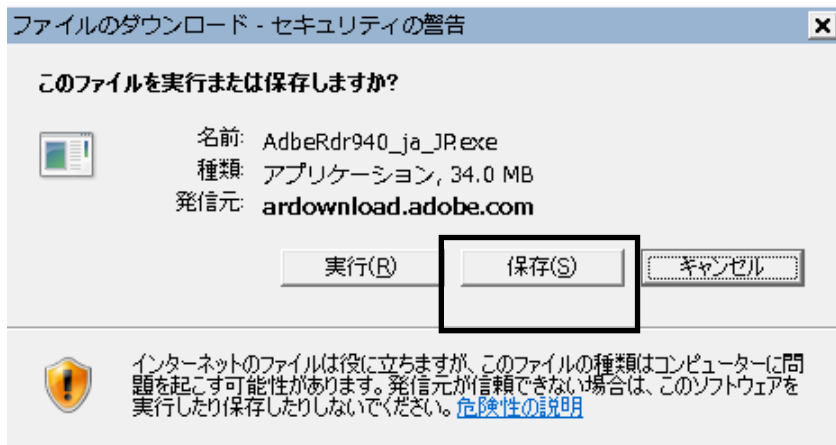
1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

[Adobe Reader 9 インストーラー](#)

③ファイルをダウンロードします。

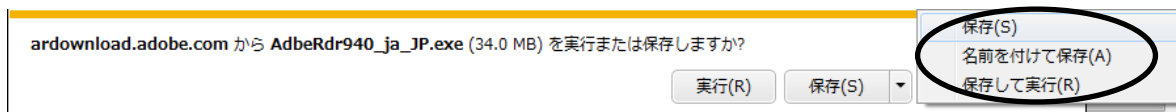
(Internet Explorer 8 の場合)

『保存』を選択し、任意の場所に保存します。

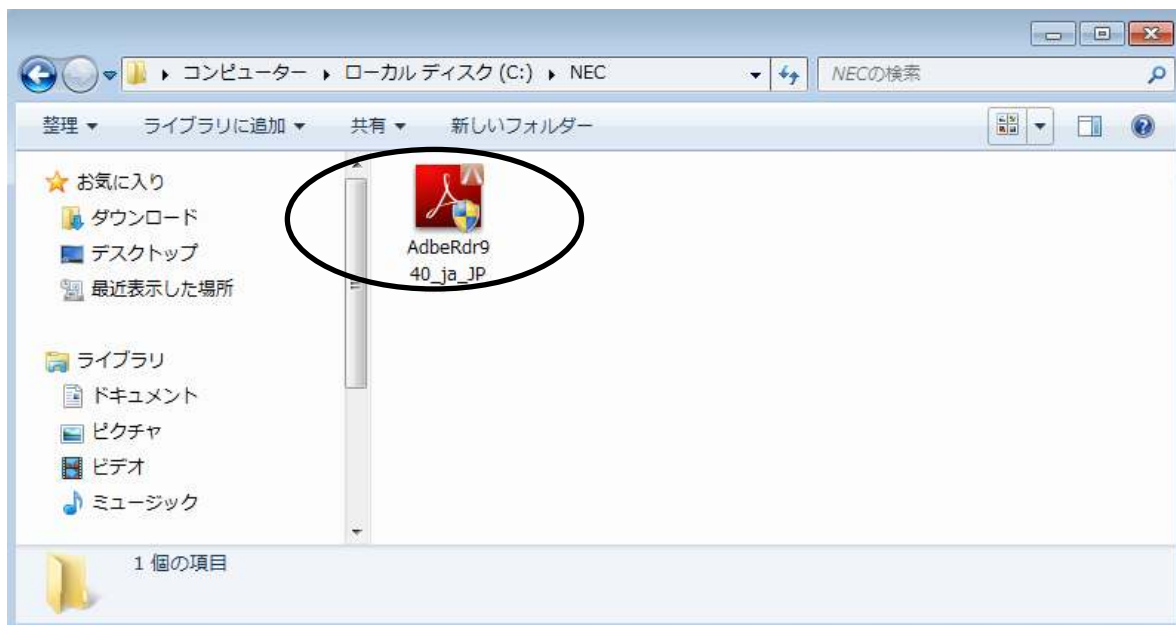


(Internet Explorer 9 の場合)

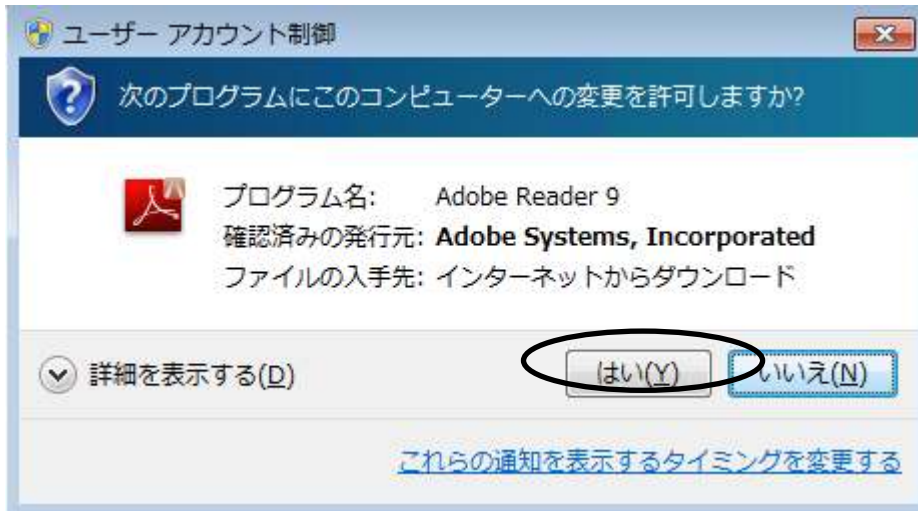
「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で任意の場所に保存します。



④保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。



⑤ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



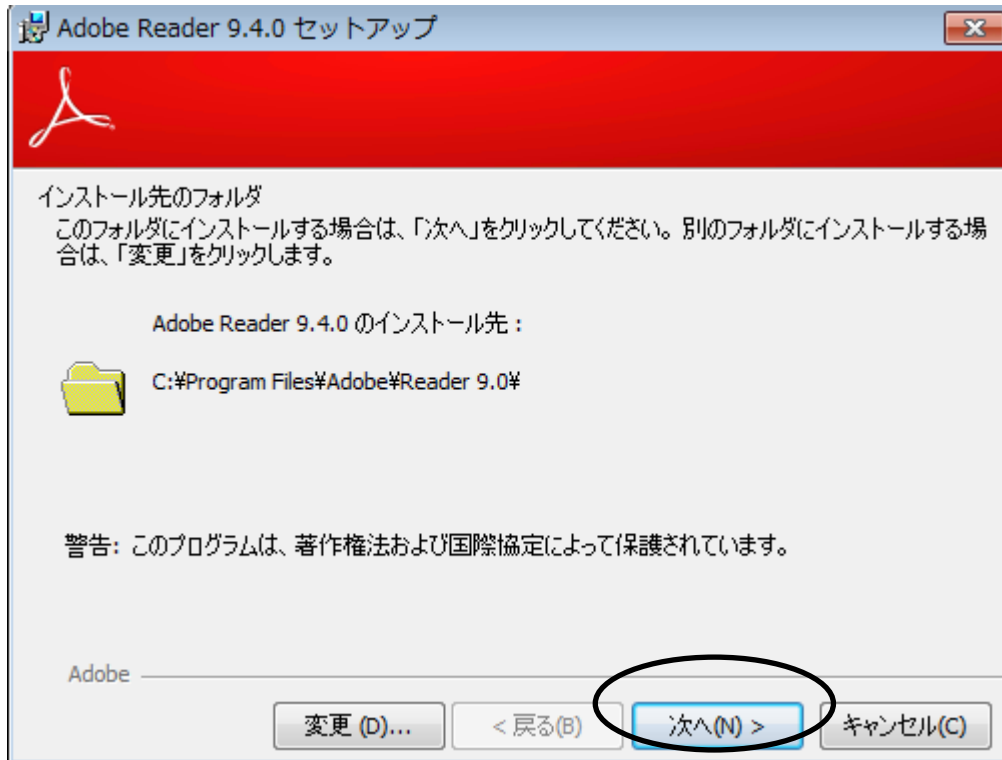
⑥進捗が 100%になるのを待ちます。



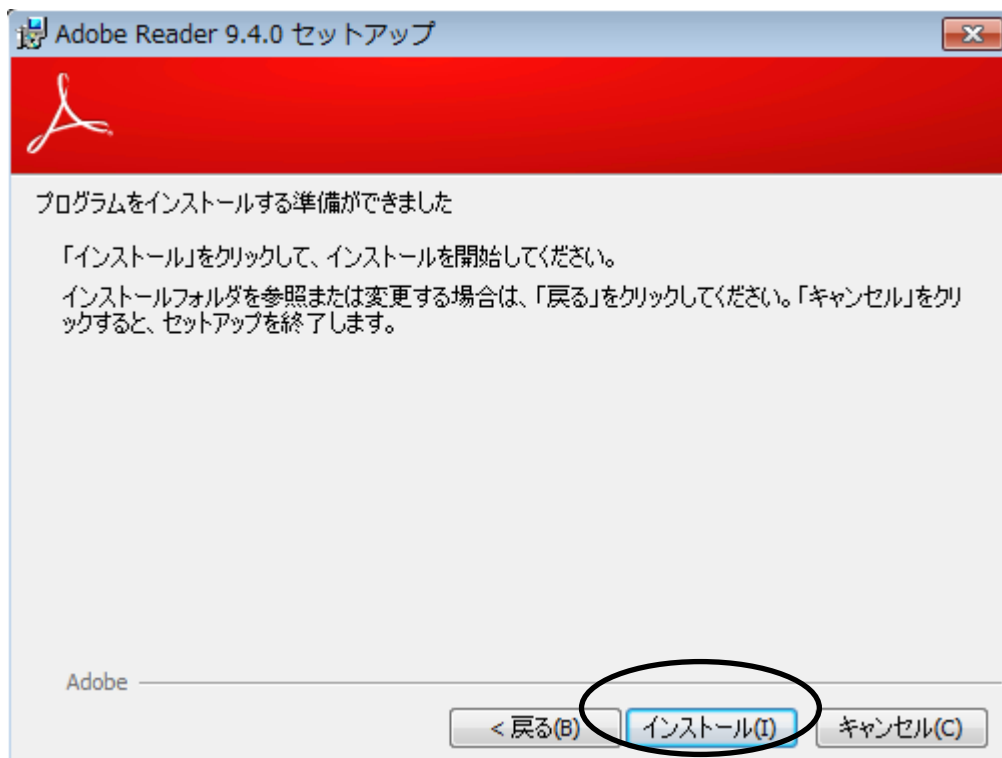
⑦ 「インストール先のフォルダ」画面が表示されます。

この説明ではインストール先の変更はせず、そのまま「次へ」をクリックします。

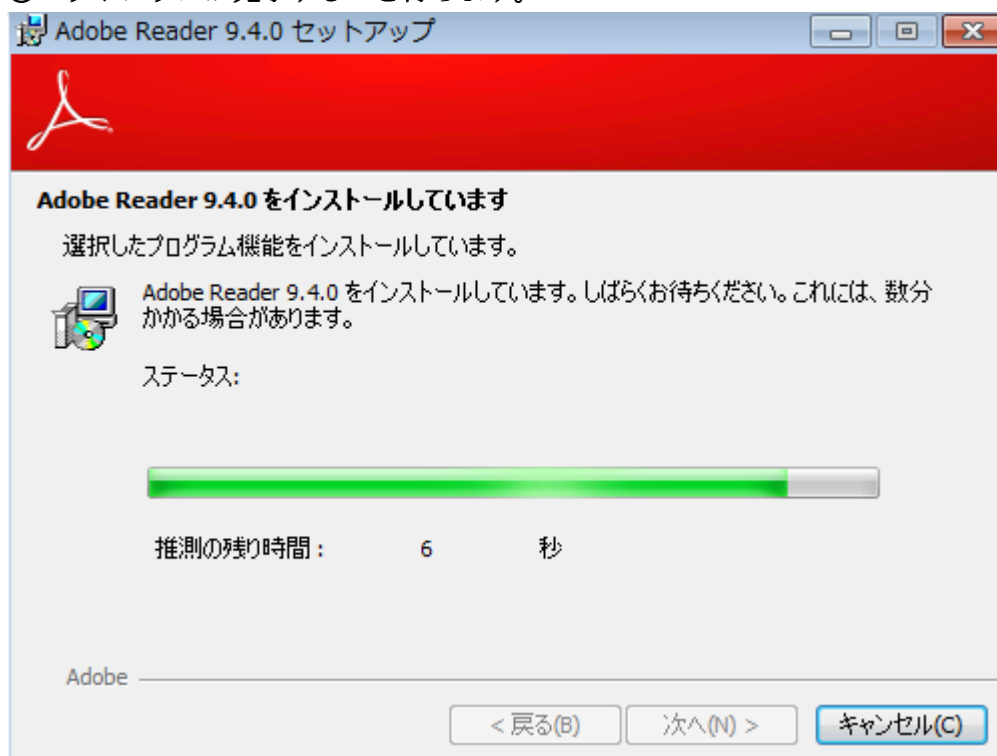
※必要に応じて「変更」ボタンでインストール先を指定することもできます。



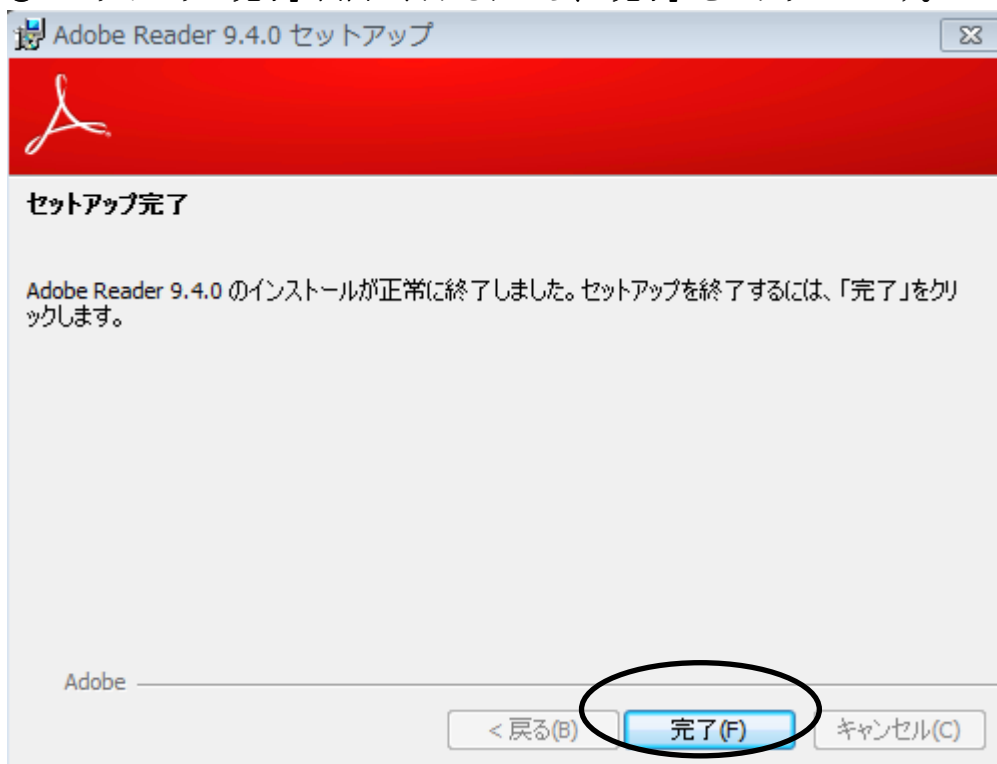
⑧ 「プログラムをインストールする準備ができました」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



⑨セットアップが完了するのを待ちます。



⑩「セットアップ完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了です。

環境設定マニュアル Windows7 編

2012 年 07 月 24 日 第 1.3 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft[®]、Windows[®]、Microsoft[®] Internet Explorer、は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。